

# 東北復興宇宙ミッション2021について

東日本大震災発災から10年にあたる2021年3月11日に、東北復興の姿と支援への感謝の気持ちを国際宇宙ステーション（ISS）から全世界に発信する宇宙ミッションが実現した。国際宇宙ステーション（ISS）を放送局に、野口聡一宇宙飛行士をアナウンサー役に見立てている。並行して被災地各自治体から植物の種などの記念品を宇宙フライトさせ、ポスト震災10年の復興と伝承に役立てていく。

## 【事業概要】

東日本大震災の記憶と復興10年のイメージを語る「写真」「記念品」「感謝の言葉」を国際宇宙ステーション（以下ISS）に打ち上げ、ISSを放送局に、野口宇宙飛行士をアナウンサー役に見立て、世界に広く感謝の気持ちを発信した。

山崎直子宇宙飛行士（一般財団法人ワンアース名誉顧問）を実行委員長とし、一般財団法人ワンアースが事務局となり、岩手、宮城、福島三県沿岸の被災全市町村を含む42市町村の首長からなる実行委員会を構成した。

復興10年を語る写真等は、各自治体から電子データで集め、福島県川俣町特産の絹羽二重薄布に高精細印刷し、同町の福田小学校6年生たちが縦1m横7mの横断幕に縫製し、これを打上げISSの日本実験棟「きぼう」内に展開した。JAXA野口聡一宇宙飛行士がその前に立ち（浮き）、各地で集めた550通に及ぶ世界への感謝のメッセージを要約して読み上げる。この模様を動画に収録し、2021年3月11日、全世界に公開した。<https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

一方、被災各地からの記念品（ご当地の花や農作物の種等等）を打ち上げる枠も（自治体ごとに10g）設定し、ポスト10年の復興への期待を担い2021年6月に打上げ、横断幕とともに2021年7月に地上帰還、以後各地で地域活性化や産業創生、震災の記憶と教訓の伝承に息長く役立てる。

復興庁の助成（東日本大震災発災10年復興発信事業）と文部科学省の後援、そしてJAXAの協力を得て進められるこの事業は、復興発信と地域活性化のみならず、市民参加型の新しい宇宙利用の実例としても注目されている。

## 【主なスケジュール】

～2020年10月：横断幕製作（11月2日、JAXAへ引渡完了）

2020年12月中：自治体ごとにメッセージ収集

2021年1月：自治体ごとにフライトする記念品（ご当地の花や農作物の種等等）準備

2021年2月：横断幕打上（米国アンタレスロケット&シグナス補給船）

2021年2月：国際宇宙ステーションでJAXA野口宇宙飛行士が感謝のメッセージ動画を撮影

2021年3月11日：感謝のメッセージ動画世界公開 <https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

2021年6月4日：各地からの記念物品打上（米国ファルコン9ロケット&ドラゴン補給船）

2021年7月：横断幕、各地記念品とも地上帰還（米国フロリダ沖着水・ドラゴン補給船）

2021年7～8月：横断幕&各地記念品日本帰国、以後各地で復興および地域振興に活用

## 【実施体制】（51自治体・・・被災地42市町村、復興支援6市町村（\*）、岩手県、宮城県、福島県）

委員長 山崎直子（宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問）

委員 東日本大震災で被災した42市町村の首長（内訳は別紙の通り）

特別委員（復興支援6市町村から4首長） 上村英司（山梨県北杜市長）、古味実（高知県仁淀川町長）、坂本浩之（福島県三春町長）、守本憲弘（兵庫県南あわじ市長）

事務局 長谷川洋一（一般財団法人ワンアース代表理事・きぼうの桜計画代表）

特別協力 三陸鉄道株式会社、一般社団法人槌音、日本宇宙少年団福島分団、株式会社夢舞台、Tohoku Space Community、株式会社ElevationSpace、NPO法人チームふくしま、一般社団法人みちのく巡礼

# 東北復興宇宙ミッション実行委員会

- 委員長 山崎直子 宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問
- 委員 岡本正善 岩手県洋野町長
- 委員 遠藤謙一 岩手県久慈市長
- 委員 小田祐士 岩手県野田村長
- 委員 柁屋伸夫 岩手県普代村長
- 委員 佐々木靖 岩手県田野畑村長
- 委員 中居健一 岩手県岩泉町長
- 委員 山本正徳 岩手県宮古市長
- 委員 佐藤信逸 岩手県山田町長
- 委員 平野公三 岩手県大槌町長
- 委員 野田武則 岩手県釜石市長
- 委員 戸田公明 岩手県大船渡市長
- 委員 戸羽 太 岩手県陸前高田市長
- 委員 菅原 茂 宮城県気仙沼市長
- 委員 佐藤 仁 宮城県南三陸町長
- 委員 須田善明 宮城県女川町長
- 委員 斎藤正美 宮城県石巻市長
- 委員 渥美 巖 宮城県東松島市長
- 委員 櫻井公一 宮城県松島町長
- 委員 熊谷 大 宮城県利府町長
- 委員 佐藤光樹 宮城県塩竈市長
- 委員 寺澤 薫 宮城県七ヶ浜町長
- 委員 深谷晃祐 宮城県多賀城市長
- 委員 郡 和子 宮城県仙台市長
- 委員 山田司郎 宮城県名取市長
- 委員 菊地啓夫 宮城県岩沼市長
- 委員 山田周伸 宮城県亘理町長
- 委員 齋藤俊夫 宮城県山元町長
- 委員 大堀 武 福島県新地町長
- 委員 立谷秀清 福島県相馬市長
- 委員 門馬和夫 福島県南相馬市長
- 委員 吉田数博 福島県浪江町長
- 委員 伊澤史朗 福島県双葉町長
- 委員 吉田 淳 福島県大熊町長
- 委員 山本育男 福島県富岡町長
- 委員 松本幸英 福島県楡葉町長
- 委員 遠藤 智 福島県広野町長
- 委員 内田広之 福島県いわき市長
- 委員 木幡 浩 福島県福島市長
- 委員 藤原一二 福島県川俣町長
- 委員 杉岡 誠 福島県飯舘村長
- 委員 白石高司 福島県田村市長
- 委員 橋本克也 福島県須賀川市長
- 特別委員 上村英司 山梨県北杜市長（きぼうの桜苗元）
- 特別委員 古味 実 高知県仁淀川町長（きぼうの桜苗元）
- 特別委員 坂本浩之 福島県三春町長（きぼうの桜苗元）
- 特別委員 守本憲弘 兵庫県南あわじ市長
- 事務局長 長谷川洋一 一般財団法人ワンアース代表理事
- 特別協力 三陸鉄道株式会社（岩手県）、一般社団法人槌音（岩手県大槌町）、Tohoku Space Community、日本宇宙少年団福島分団（福島県福島市）、株式会社夢舞台（兵庫県淡路市）、NPO 法人チームふくしま・福島ひまわり里親プロジェクト（福島県福島市）、一般社団法人みちのく巡礼（宮城県仙台市）、株式会社 ElevationSpace
- 助成 復興庁（東日本大震災発災 10 年復興発信事業）
- 後援 文部科学省

# 東日本大震災10年

## 宇宙から世界に、ありがとう

### JAXA 野口聡一宇宙飛行士

SOICHI NOGUCHI, JAXA ASTRONAUT

復興の写真を集めた  
絹の横断幕・長さ7m



2021年3月11日  
世界公開

## 東北復興宇宙ミッションのライフサイクル



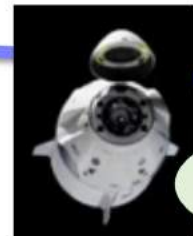
シグナス補給船



ドラゴン補給船



ISS内で感謝の動画撮影  
2021年3月11日に世界へ発信!!



米国スペースX  
ドラゴン宇宙船

2021年2月20日打上

2021年6月4日打上



アンタレスロケット



ファルコン9ロケット



宇宙に張り出された横断幕・長さ7m

2021年7月10日  
横断幕と記念品  
地上へ帰還



東北復興宇宙ミッション2021  
国際宇宙ステーション 日本実験棟「きぼう」フライト証明會

JAXA 有人宇宙技術部門  
きぼう利用センター長 小川 志保  
JAXA



各地の復興画像  
を刷った横断幕



各地の復興記念品  
花や農作物の種など

2020年7月  
プロジェクト  
本格始動

JAXA契約 7/20  
復興庁選定 7/31



宇宙を旅した素材で、  
ポスト10年の地域創生と震災の伝承

